



学校だより

高岡市立こまどり支援学校

平成 26 年 12 月 1 日 (月)

N さんに教えてもらったこと

特別支援教育コーディネーター 百塚 昌子

十二月のうた
茨木のり子

熊はもう眠りました
栗鼠もうつらうつら
土も樹木も
大きな休息に入りました

ふつと
思い出したように
声のない 子守唄
それは粉雪 ぼたん雪

師も走る
などと言って
人間だけが息つくひまなく
動きまわり

忙しさとひきかえに
大切なものを
ぼとぼと 落としてゆきます

12月になると必ず思い出す詩です。「忙しい」と言うことがまるで立派なことのよう、できないこと全ての言い訳にしてしまう自分自身を諫めるために、念仏のように唱えます。

唱えながら、この詩が大好きだった友人のことを思い出します。小学2年生からこまどり学園に入園し高等部分教室3年生までの10年間をこまどりで学んだNさん。重度の身体障害がありましたが、卒業後はふるりの自宅にもどり、電動車椅子を使って御家族や地域の方との充実した日々を過ごしました。

Nさんが小学3年生になったとき、音楽担当の先生として私は彼女と知り合いました。Nさんが卒業してからは、友達としてよく家にお邪魔しました。半日をNさんと一緒に庭や空の雲を眺め、何とはない話をして過ごす、私は生き返るような思いがしました。心が深呼吸する思いです。「こんな小さな村ではね。重い障害の若い在宅の人なんて、私一人しかいないんだよ。役場へ行っても、私が何でも教えてあげないと利用できるサービスのこと、何にも知らないんだよ。」とぼやいていました。そう言いながら扉を叩き続けたNさんは、障害のある人の在宅生活の可能性と豊かさを私に見せてくれました。特別支援教育コーディネーターとして他の人よりも少しだけ適性があるとしたら、Nさんに教えてもらったことがいくつもあるからです。

Nさんが亡くなってからもう5年になります。あれから、空を見上げるとNさんの「先生、元気にしてる？」という、はにかんだ声が聞こえてくる気がします。「教員生活を卒業するまでもう少しになったよ。最後までNちゃんに楽しく報告できるように、一生懸命仕事をするよ。応援してね。」彼女が飽きることなく眺めていた空を見上げて、そんなことを思うこの頃です。

「2015こまどりカレンダー」ができました

今年も児童生徒が様々な方法で工夫して作った「こまどりカレンダー」ができました。表紙には紙粘土で作った北陸新幹線の写真が載せられています。11月25日(火)には児童生徒の代表3名が市役所を訪ね、高橋正樹高岡市長や青木紘高岡市会議長に贈呈しました。本校では昭和54年からカレンダーの制作に取り組み、お世話になった方々に感謝の気持ちを込めて毎年贈呈しています。



「正月飾り」づくり

11月19日の学習参観の際、中学部では、学校で育てた稲のわらを使った正月飾りを作る体験活動を行いました。まず、今年の稲栽培活動を振り返ったり、お米に関するクイズを楽しんだりした後、正月飾りづくりに親子で挑戦しました。「わらをたたく」「わらをなう」「飾りをつける」といった手順で行いました。初めてのことに悪戦苦闘しながらも、できあがった縄に、松ぼっくりや獅子頭、水引などの飾りをつけると、その出来栄えに大満足の表情でした。



児童生徒の体調不良時の対応について

日頃より、子供たちの健康管理についてご協力いただきありがとうございます。インフルエンザなどの感染症の流行シーズンを前に、感染症の重症化、蔓延を防ぐための対応をお願いします。登校前には健康観察や検温などを行い、いつもと様子が違うときは無理をせず家で様子を見てください。学校では、発熱の有無にかかわらず、お子様の様子がいつもと違う、体調が思わしくない、感染症が疑われるなど、授業の参加が困難と判断される場合は、緊急にご連絡させていただくことがあります。その際はご家族によるお迎え、静養、医療機関での受診等を依頼いたします。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

12月の予定

- 1日(月) 体重測定①
- 2日(火) 体重測定②
- 3日(水) 体重測定③
- 5日(金) PTA研修会
- 9日(火) 中学部校外学習
- 10日(水) 2学期の集い
- 11日(木) 中学部交流会
- 17日(水) 小学部地域交流
- 19日(金) 保護者会(下校バス 13:15 発)
- 22日(月) 給食終了
保護者会(下校バス 13:15 発)
- 24日(水) 終業式(下校バス 11:30 発)
- 25日(木) 冬季休業開始

1月の予定

- 7日(水) 冬季休業終了
- 8日(木) 第3学期始業式
- 9日(金) 書き初め大会
身体測定①
給食開始
- 13日(火) 身体測定②
- 14日(水) 身体測定③

